

「水口岡山城を語ろう～君の城熱が未来を築く～」 開催結果

1. ワークショップの概要

・目的

甲賀市教育委員会では、令和6年度より良好に残る石垣など城郭遺構を適切に保存し、史跡の活用と整備を進める指針となる「保存活用計画」の策定事業を進めています。令和6年度の市民ワークショップでは、城跡の良いところや課題について意見を出し合い、課題を解決するためのアイデアを話し合いました。

今年度は、現地見学も実施し、その場で城跡の歴史や遺構の雰囲気を感じ取ることで、より具体的かつ実践的な計画を目指します。

・日時と場所

令和7年7月12日(土)

第1部 15時30分～17時 史跡水口岡山城跡

第2部 19時30分～21時 甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」多目的室1・2

・参加者

一般参加者19名(うち、第1部6名、第2部13名)、甲賀市歴史文化財課4名

2. 内容

第1部 現地見学

- ・水口岡山城跡を学芸員の案内で見学

第2部 ワークショップ

①グループごとに設定されたテーマについて議論

- ・テーマごとの課題解決策と具体的な行動計画の検討

②アイデア共有と全体討論

- ・各グループの計画案発表と全体議論

③成果の振り返り

3. まとめ

第3回では、第2回までに出そろった意見を「インフラ・環境整備」「遺構の保護・展示・復元」「教育・観光活用」の3カテゴリに分け、各グループで実施時期・実施主体・優先度を具体化することを目指しました。参加者はA～Cの3グループに分かれ、各案の重点事項を選定し、その理由と将来効果までをまとめて発表しました。

Aグループ「インフラ・環境整備」

Aグループはまず安全な見学環境の整備に着目し、重点事項として「トイレ新設」と「見学ルートの修繕」を選びました。現地では砂利舗装の流出箇所や朽ちかけた木製階段が見受けられ、通行者の転倒や怪我のリスクが高いことが懸念されたためです。実施時期は可能な限り早期とし、行政が主体となって整備を進めることが確認されました。

B グループ「遺構の保存・復元・展示」

B グループは城跡としての輪郭を明確にするために2つの重点事項を設定しました。第一に、本丸から三の丸までの木を伐採して地形を視覚化し、麓から城郭構造を直感的に理解できる状態をつくること。第二に、石垣の保全・修復と周遊ルートを整備をバルーンなどと組み合わせて行い、遺構の保存意識と観光資源としての魅力を同時に高めることです。実施時期は木伐採を短期、石垣整備を中～長期と区分し、行政が主体となって範囲を明確にした上で進める計画です。

C グループ「教育・観光活用」

C グループは子どもをターゲットにした参加型イベントの創出を重点に置きました。地域の若い世代が城跡に親しむことで、将来的な保護や家族単位での来訪を促す狙いです。具体案として、「逃走中」を城跡で実施するほか、水鉄砲合戦など体験型プログラムを挙げ、短～中期で民間団体（城の会や商工会青年部）が運営主体となることを確認しました。一方で参加者募集や運営費、安全管理の課題も洗い出され、今後の課題解決策を検討していく必要があります。



第1部



第2部